

研修名	特別課程 道路保全〔疲労コース〕(1)【集合】 (平成27年度～)					事務	技術
							○
目的・重点事項	<p>道路橋の鋼橋に発生した疲労損傷の発生要因や対策技術などについて専門的知識の修得を図り、鋼橋疲労の点検・診断・補修に関しての能力を養成し、地方整備局等の管内における指導的立場にある技術者の育成を行うことを目的とする。</p> <p>以下の点を重点項目とする。</p> <p>① 道路橋の鋼橋に発生した疲労損傷の発生要因や対策技術などの専門的知識の修得</p> <p>② 鋼橋疲労の点検・診断・補修に関しての能力の養成</p> <p>③ 現場実習、演習、討議を行い、対策技術の知識の向上</p>						
対象者	<p>国土交通省、内閣府沖縄総合事務局の技術系職員で、本局道路構造保全官、本局課長補佐、事務所保全対策官、事務所課長又はこれらと同等の職の者で道路構造物に関する業務を担当し、橋梁の疲労損傷についての知識を有する者</p> <p>本研修は、令和6年度を初年度として3ヶ年サイクルで一連のカリキュラムとして実施するものであり、参加条件として、令和6年度から、3年連続して受講することが必要である。</p> <p>3ヶ年の構成は、以下を想定しており、本研修を受講することにより修得した知識及び技術を、職場でのOJT等によって定着を図り、その成果や経験等をレポートにまとめ、翌年度の研修で討議することを予定するものである。</p> <p>令和6年度(1年目)：座学及び現場実習を中心とした構成  令和7年度(2年目)：現場実習及び討議を中心とした構成  令和8年度(3年目)：討議を中心とした構成</p>						
定員(人) ※目安	国土交通省	内閣府沖縄総合事務局	地方公共団体	独立行政法人等	団体	計	
	9	1				10	
研修期間	26.0時間 4日間			令和6年 9月24日(火)～ 令和6年 9月27日(金)			
カリキュラム内容 (予定時間)	<p>1. 講義(17.0) 疲労に関する基礎知識、鋼橋疲労損傷の実態と課題、鋼橋の点検、事例検討から抽出された疲労対策の課題、既設橋梁の疲労設計、鈹桁・箱桁・トラスアーチ・鋼床版の疲労対策等</p> <p>2. 現場実習(7.0) 鋼橋の疲労損傷に関する現場実習</p> <p>3. その他(2.0) 入校式、修了式、オリエンテーション、ガイダンス</p> <p style="text-align: right;">計 26.0</p>						
前年度からの主な変更点	<ul style="list-style-type: none"> <li>・3ヶ年で一連のカリキュラムの1年目研修</li> <li>・定員増(8人→10人)</li> <li>・研修期間変更(8月→9月)</li> </ul>						
担当 国交大・本省	<p>国交大：建設部 環境安全技術研修官 (TEL:042-321-0645)</p> <p>本省：道路局 国道・技術課</p>						
備考	テキスト代(予定)30,000円						